

防災豆知識 vol.17



令和8年1月20日
梅丘まちづくりセンター

テーマ「帰宅困難者」

今回は、帰宅困難者の中でも、遠距離を徒歩で帰宅する人の対応についてご案内します。まずは、言葉の定義から

【帰宅困難者】・地震発生時に外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者（近距離を徒歩で帰宅する人）を除いた帰宅断念者（自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人）と遠距離徒歩帰宅者（遠距離を徒歩で帰宅する人）。

【駅前滞留者】・特定の駅周辺における「滞留者」を指し、帰宅可能な近距離の徒歩帰宅者及びそれ以外の帰宅困難者等。

東日本大震災では、交通機関等の運行停止により、通勤、通学、買い物客等約352万人（内閣府推計）の帰宅困難者が発生しました。区は、区内幹線道路に帰宅困難者が大量に発生したため、緊急的な措置として、区立の集会施設などを24箇所開放しました。

大規模な地震が発生した場合、多くの帰宅困難者が発生し、区内において混乱が想定されます。大勢が一斉に帰宅することで道路や歩道に多くの人々が滞留し、警察・消防・自衛隊の車両が現場に到着できないなど、救命救助活動に支障をきたすほか、余震等による二次災害の危険性など、帰宅困難者自身の安全が脅かされる恐れがあります。

そのため、民間事業者や学校などにおいて、「自助」「共助」が連携した総合的な取り組みが必要になります。例えば、従業員や児童・生徒を職場や学校等に待機させ、一斉帰宅を抑制し、帰宅困難者自身の安全を確保しながら社会としての混乱を防止する必要があります。都は、東京都帰宅困難者対策条例を策定し、従業員の帰宅抑制、3日分の備蓄、駅・大規模集客施設の利用者保護、学校等における児童・生徒等の安全確保といった対応の周知徹底を図っています。

混乱収拾後の徒歩帰宅が始まる際には、以下のように対応していきます。

1. 支援等を行う施設

(1) 一時滞在施設

もし、都心方面に出かけた際に震災に合い帰宅困難者になったら…

東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム「キタコンDX」の活用を！

帰宅が可能になるまで待機する場所がない帰宅困難者を一時的に受け入れる施設です。最長で発災後3日間の運営を標準とし、床面積3.3㎡につき2人の収容を目安として、飲料水、食料、ブランケット、トイレ、周辺の被害状況や道路・鉄道の運行状況などの情報等の提供を行います。

	施設名	所在地
都指定施設	世田谷市場	大蔵 1-4-1
	世田谷総合高等学校	岡本 2-9-1
	駒沢オリンピック公園総合運動場	駒沢公園 1-1
	松原高等学校	桜上水 4-3-5
	総合工科高等学校	成城 9-25-1
	園芸高等学校	深沢 5-38-1
	深沢高等学校	深沢 7-3-14

区協定締結施設	施設名	所在地
	東京中央農業組合 本店・千歳支店	粕谷 3-1-1
	社会福祉法人康和会 久我山園	北烏山 2-14-14
	学校法人和光学園 和光小学校	桜 2-18-18
	東洋ドライループ株式会社	代沢 1-26-4
	二子玉川ライズ	玉川 2-21-1
	東神開発株式会社（玉川高島屋S・C）	玉川 3-17-1
	トヨタモビリティ東京株式会社 レクサス用賀	上用賀 5-13-6
	トヨタモビリティ東京株式会社 瀬田店	玉川台 1-8-6
	トヨタモビリティ東京株式会社 世田谷桜丘店	桜丘 4-14-1
	トヨタモビリティ東京株式会社 レクサス若林	若林 3-13-1
	トヨタモビリティ東京株式会社 成城店	千歳台 3-19-22
トヨタモビリティ東京株式会社 烏山店	給田 4-1-1	

（2）帰宅困難者支援施設

災害時、徒歩帰宅者の支援等を行う施設です。対象となる施設は、区が指定する施設及び協定締結による施設で、可能な範囲で飲料水、トイレ、地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報、スマホ充電（指定施設）などの提供を行います。

指定	施設名	所在地	周辺駅・道路
世田谷	太子堂区民センター	太子堂 1-14-20	三軒茶屋駅・国道246号
	上馬地区会館	上馬 4-10-17	国道246号
	経堂地区会館	経堂 3-37-13	経堂駅
北沢	北沢総合支所	北沢 2-8-18	下北沢駅
	代田区民センター	代田 6-34-13	新代田駅・環状7号線
玉川	深沢区民センター	深沢 4-33-11	駒沢通り
	桜新町区民集会所	桜新町 1-30-14	桜新町駅・国道246号
砧	砧区民会館成城ホール	成城 6-2-1	成城学園前駅
	大蔵第二運動場ロビー	大蔵 4-7-1	世田谷通り
烏山	烏山区民センター	南烏山 6-2-19	千歳烏山駅・甲州街道
	上北沢区民センター	上北沢 3-8-9	上北沢駅
協定	施設名	所在地	周辺駅・道路
世	世田谷郵便局	三軒茶屋 2-1-1	三軒茶屋駅・国道246号

（3）災害時帰宅支援ステーション（令和4年10月現在、10,439箇所）

帰宅経路上の徒歩帰宅者を支援する施設であり、想定する施設は、都立学校等の公共施設や、沿道に多数の店舗があるコンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等の協定を締結した民間施設です。水道水及びトイレの提供、地図等による道路情報及びラジオ等で知り得た通行可能な道路等の情報提供等を行います。

*被災状況によっては対応できない施設があります。

2. 避難所での対応

梅丘地区には、環七、梅丘通り、淡島通りが通っており、多くの帰宅困難者がスマホ片手に徒歩で避難所にたどり着き、支援を求められることもあるかと思えます。基本的には上記の支援施設等への案内をお願いします。

今回は、富士山噴火についてご案内します。